

米國の勞働教育に關する

一つの報告

松井七郎

はしがき

- 一、米國における勞働教育の沿革
- 二、勞働教育の目的
- 三、全國組合の教育活動
 - (1) 國際婦人服勞働組合
 - (2) 自動車勞働組合
- 四、都市及び州を單位とする勞働教育
- 五、米國勞働教育部 (American Labor Education Service)
- 六、勞働教育局 (Workers Education Bureau)
- 七、大學における勞働教育
 - (1) 勞働大學
 - (2) 大學通信教育部による勞働教育
 - (3) 勞働教育の學課程
 - (4) 大學と勞働運動との關係

米國の勞働教育に關する一つの報告

はしがき

周知の如く、我が國勞働者の團結權・團體交渉權は、勞働階級自らの努力と犠牲とによつて獲得されたものではなく、連合軍による日本民主化政策の一環として上から與へられたものである。従つて大多數の勞働組合員は、組合運動に對し、無自覺・無關心たることを免れず、そこに少數幹部獨裁の危險が窺へる。

我が國の民主化に於て、勞働組合の擔ふ使命と任務は誠に重大であるが、組合がかかる重大なる任務を果すためには、組合員の民主的な勞働教育により、組合自體の民主化を確立しなければならぬ。

筆者は一九四八年十月より一九五〇年一月まで、米國における勞働の關係を親しく視察研究した結果、一層この感を深くした。いふまでもなく、米國において勞働組合の急激な増加をみたのは、ワグナー法制定以後に屬するのであつて、この比較的短期間に於ける勞働組合運動が強力な民主的勢力となり得たのは、主として組合員に對する勞働教育のためであるといつても差支へない。そこで筆者の見聞に基いて米國に於ける勞働教育の實際を少しく紹介してみたいと思ふ。多少なりとも我が國勞働教育の參考に資するところあらば幸である。

一 米國における勞働教育の沿革

米國の勞働教育は比較的最近に發達したもので、一八二八年

かの有名な空想的社會主義者ロバート・オーエンの子供であるロバート・デール・オーエン及び空想的社會主義の信奉者フランシス・ライトが、科學館を建設したのをもつて、米國における勞働教育の嚆矢であるとされてゐる。しかし、科學館の建設運動は、事實その後の勞働教育に大きな影響を與へたには相違ないが、このオーエン主義者の運動は、新理想社會建設のための一種の啓蒙運動であつて、單に勞働者のみを對象とするものではなかつたから、純粹な意味に於ける勞働教育といふことにはならない。

一八六九年に組織された米國最初の全國的勞働組合たる勞働騎士團は、現資本主義的社會の下に於ける賃金制度を廢止し、協同組合的産業組織を樹立することを目標とした。そのため特に教育運動を重視したが、餘り期待する程の効果を擧げることが出来なかつた。勞働騎士團の没落後、これに代つて勞働組合運動の指導權を握つた米國勞働總同盟 (American Federation of Labor 略して A.F.L.) の創設者ゴンベースは、勞働教育にはあまり熱意を示さなかつた。

英國に於ては十九世紀の頭初から協同組合運動及び基督教社會主義の運動等が起り、彼等が啓蒙運動を盛んに行つたために、これと平行して勞働教育も早くより發達した。前世紀末に於ける英國基督教社會主義運動の實踐者ウキリアム・モリスの思想的影響を受けた基督教社會主義者ミラー夫妻が、一八九四年勞働者教育を目的としてミズリー州トレントン附近にアヴァロ

ン大學を設立したことが擧げられる。アヴァロン大學は其後ラスキン大學と改稱され、フロリダ州ラスキンに移轉された。このラスキン大學は第一次世界大戰當時約八十名の學生を收容し、彼等の大部分はアルバートに依つて自給自足的に勉強した。産業民主主義連盟の現理事長レイドラーの如きは、ラスキン大學の卒業生の一人である。然るに一九一七年ミラーの没後は經營難に陥り、大戰直後遂に閉鎖の止むなきに至つた。

廿世紀に入つてから社會主義運動が發達し、一九〇五年にはジャック・ロンドンを會長とする大學連合社會主義協會が組織された。當協會は講演會や討論會の開催、及びパンフレットの發行などにより、大學の學生及び教授間に社會主義思想を普及することを主たる目的として發足したが、英國フェビアン協會の社會主義思想普及に於ける輝かしい成果に刺戟され、一九二一年その名稱を現在の産業民主主義連盟と變更し、ノルマン・トーマス及びレイドラーの指導下に社會主義運動の普及に大きな貢獻をなした。併し、社會主義の普及もさることながら、産業民主主義連盟が勞働者教育思想の普及に貢獻するところの少くなかつたことを無視してはならない。

米國に於ける勞働教育が本格的に初められたのは第一次世界大戰後である。十九世紀に於ける米國勞働運動は、主として組合存立の闘争と目前の勞働條件改善とに向けられた。特に第一次世界大戰後に勞働教育が發展するに至つたのは、幾多の理由に基くものである。その理由の第一は、大戰後資本家陣營は反

組合戦術として御用組合、黄犬契約、罷業破り、裁判所の禁止令等を用いて組合運動を弾壓した。かかる資本家の労働政勢に對し、防禦的立場に於て組合員の士氣を鼓舞し、戦線の統一を圖るために労働者を教育する必要があつた。第二には、現存する大部分の労働教育機關は、主として資本家階級より財政的援助を受け、またその支配下におかれてゐるために、労働運動の健全な發展に役立つ様な労働教育を期待することは不可能である。労働教育は労働者により労働者のために行はれる教育でなければならぬ。そのためには資金も自ら醸金し、學課目も自ら選擇し、労働運動を眞に理解し、またこれに同情をもつ教師によつて行はなければならないと痛感するに至つたことである。更に第三には、一九三五年ワグナー法制定以來、労働運動の歴史や精神を十分理解しない多數の労働者が組合に加入したため、これら一般組合員大衆及び組合幹部の教育が必要になつたことである。最後に、最近、團體交渉及び労働協約が組合の最も重要な機能となり、経営者と對等に交渉するためには、これに必要な理論的並に技術的教育を施す必要が起つたことである。

- 1) T. Rarnald & Others: Workers' Education in the U. S., p. 49.
- 2) Ibid. pp. 51—2.
- 3) Ibid. pp. 53—4.
- 4) H. W. Laidler: League for Industrial Democracy,

米國の労働教育に關する一つの報告

Forty Years of Education, pp. 17—23.

5) C. R. Daugherty: Labor Problems in American Industry, Vol. I, pp. 510—1.

二 労働教育の目的

労働者は一方では市民として、また他方では産業従事者として、社會の成員であるが、社會の構成が複雑化し、また労働者が人口において占める割合の増加した近代社會においては、社會成員としての労働者の地位はとみに重要性を増してきたといへるであらう。従つて、労働者がこの社會成員としての役割を果たすためには、市民として、また産業労働者としていかにあるべきかを知ることが必要とならざるを得ない。かくして労働教育は、労働者をして彼の従事する仕事を理解せしむると共に、その仕事の社會全體との關聯をも理解せしむることを目的とする。

かやうに労働教育は一面において市民としての一般的教育を労働者に施すものではあるけれども、いはゆる成人教育とは異なるものである。労働教育は集團としての労働問題、並に集團行動によるその解決を強調するのであつて、個々の労働者の問題としてではなく、集團の問題として取扱ふのである。

過去十五ケ年に、米國の労働組合員は四百萬人から千五百萬人へと増加したが、かかる組合員の急激なる増加に伴ひ、労働教育は次の三つの重要な課題をもつに至つた。

第一はこれら多數の新入組合員に、彼等の權利義務及び勞働運動の目標及び機能等を徹底的に教へることである。若し新組合員が一般勞働組合運動の歴史、特に彼の所屬する組合に關して十分な理解をもつならば、彼は最も重要な組合員となり得るであらう。彼はまた議事法、演説、苦情手續き等組合の民主的手續きを理解しなければならぬ。かくして新入組合員は完全な組合員となり得る。

第二は、組合の指導者教育である。今日社會は勞働者の團結權及び團體交渉權を確認してゐるのみならず、正規の團體交渉のみが社會的混亂と破壊的階級闘争の防波堤であると考へるようになった。従つて團體交渉に當つて組合指導者の地位が極めて重要とならざるを得ない。初期の組合運動に於ては、卓を叩いて大聲疾呼するものが指導者として成功してゐたが、今日の指導者は經營者に向ふに廻して理論的に又科學的數字に基いて相手方を納得せしめなければならぬ。そのためには經濟、勞働立法、職務評價を始め、複雑した産業關係の他の總ての問題に通曉しなければならぬ。併し、組合指導者は他方組合を最も能率的に機能せしむるために事務的且民主的に組合の問題を處理しなければならぬ。ここに組合指導者教育の重要性がある。

第三に、勞働教育の目標は、組合指導者も一般平組合員も、民主的社會の一市民としての完全なる役割を果し得るやうに教育することである。彼等は國內問題及び國際問題に關しても正

しい認識をもたなければならぬ。

勞働教育を効果的ならしむるためには、外部で作成したプログラムを強制するよりも、勞働者の要求に應じた學課目を選ぶべきであると主張されてゐる。米國の勞働運動史にはインテリゲンチヤが自ら必要と考へた教育を勞働者に強制せんとして失敗した多數の例がある。

英國に於ける勞働教育の特徴は、組合員に對し嚴義の教養的プログラムを含む成人教育を施すことにある。然るに、英國でも勞働教育の目的に就て必ずしも意見が一致してゐない。勞働教育の擔當機關たる勞働教育協會 (Workers' Educational Association) が分裂してプレプス連盟 (Preps League) が出来たのもそのためである。プレプス連盟は第一次大戰後全國勞働大學協會 (National Council of Labour Colleges) と改名したが、同協會は勞働教育は財政的にも政府又は資本家の援助を受けず、完全に勞働者階級によつて支配されるべきであり、學科目としてはマルキシズムの經濟理論に重點を置くべきであると主張する。彼等の見解に従へば、勞働教育の目標は勞働者に社會主義的新秩序に對する準備をなすにある。かかる勞働教育の重點が理論的乃至は一般教養的成人教育に置かれてゐることに對しては、組合陣營内部に於ても批判があり、勞働教育協會内に勞働組合委員會を設けてこれを是正せんとしてゐるし、また勞働組合會議も勞働組合史、組合の機構及び組織、組合の運営、團體交渉、社會立法等の技術的勞働教育を計畫してゐる。併し、

全體としてみれば、一般教養の成人教育に英國労働教育の特色がある。

米國に於ても、少數の社會主義者及び共產主義者は、労働教育を來るべき新秩序に對する準備教育と考へており、マーク・スター氏の如きも、労働組合が政治的・經濟的に強力になるに従つて益々社會問題の基礎的理解を必要とし、労働教育の目的もそこに向けられなければならないとし、社會科學の基礎的研究のみが、組合員に必要な智識を與へるであらうと述べてゐる。しかし、大體に於て米國の労働教育は、一般組合員大衆及び組合指導者に、組合の運営並に團體交渉及び労働協約に必要な技術的教育を授けることにその重點を置いてゐる。

これに反し英國に於ては現に労働黨が政權を握り、中央に於ては重要な經濟政策決定の必要にせまられてゐるが、地方に於ても組合員が失業保險、災害補償、其他各種の委員會等に委員として參割してゐるので、かかる重大な任務を遂行するためには理論的教育が必要となつて來る。

このやうに英米兩國に於ける労働教育の差異は兩國の政治的・經濟的背景の相違にこれを求むべきであつて、米國に於ける労働教育の中心課題は技術的な方面にその特異性を求めることができる。

- 1) E. E. Schwarzlander: The University of Wisconsin School for Workers, Its First Twenty-five Years, p. 31.
- 2) John D. Connors: Workers' Education, pp. 1—3.

米國の労働教育に關する一つの報告

- 3) C. F. Ware: Labor Education in Universities, p. 39.
- 4) E. E. Schwarzlander: The Wisconsin Idea in Workers Education, p. 13.

- 5) Mills & Montgomery: Organized Labor, pp. 323—4.
- 6) N. Barou: British Trade Unions, pp. 125—9.
- 7) Mills & Montgomery: Organized Labor, p. 325.
- 8) Mark Starr: Workers' Education To-day, p. 48.
- 9) N. Barou: British Trade Unions, pp. 129—30.

三、全國組合の教育活動

1) 國際婦人服労働組合

國際婦人服労働組合は米國労働教育の開拓者であり、且現在に於ても組合労働教育に於て指導的地位を占めてゐる。婦人服労働者の大部分はユダヤ人イタリヤ人等の移民が多く、彼等の多くは好學心に燃えてゐた。従つて婦人服組合運動の初期に組織された單位組合は一種の教育クラブ又は修養會から發展したものが多かつたし、他方組合中には社會主義者其他の革新主義者が多く、彼等が自己の主義を宣傳するためにこれらの會を利用したことが相俟つて、教育活動は組合組織の當初から盛んに實施された。しかし、その當時は未だ組合に教育部がなかつたので、社會主義者の經營してゐたランド・スクールに委託して教育を行つたが、一九一六年、組合教育の重要性に鑑み、新たに教育部を設置し、教育委員を任命し、教育費として五千弗

の豫算を計上した。

當時の教育の第一の目的は一般勞働組合員に一般勞働問題並びに勞働組合の目的及び手段を教へること、第二には有能な組合員に組合役員としての訓練を施すことであつた。組合員中には外國移民が多く、彼等が公立學校で受けられなかつた教育を、組合教育によつて補ひたいといふ念願が他の何れの組合員よりも強かつたことが、勞働教育の發達した重要な理由であつた。

以上の如き教育計畫を遂行するために單位組合は教育委員を設け、資金を募集して一九一八年ニューヨーク市の公立學校を使用して勞働大學を開き、勞働問題、米國政治、歴史等のより組織的研究に従事した。一九二二年教育部のために一萬七千五百弗の豫算を計上した。ニラの政策による政府の組合援助方針の結果、組合員が急激に膨脹した。これ等新入組合員に對しては徹底的な教育の必要があつた。そのため一九三八年度には勞働教育費として二十萬弗の豫算を計上した。組合の教育は大衆教育、教室教育、幹部教育の三つに大別することが出来る。大衆教育は一般組合員を對象とし、その内容は講演、旅行、博物館美術館等の見學、娛樂、スポーツ、音楽、ダンス、劇等を含む。教室教育は經濟、社會史、勞働問題、勞働運動史、國際婦人服勞働組合史等の課目に英語、ジャーナリズム、演説、議事法等の實際的課目を教授する。幹部教育は單位組合又は全國組合の役員候補者の教育である。一九三七年の組合年次大會に

は、役員資格課目終了者でなければ役員となり得ないといふ規定を設けた。

幹部養成のために各地の勞働學校及び大學等と協力して數日乃至二週間の講習會を開いてゐるが、一九四七年度にはこれら幹部養成講習會は二十を越え、出席者總數は九百五十一名に達してゐる。尙優秀な幹部には奨學金を支給して、これら講習會に出席せしめてゐる。また常任役員、職場委員、執行委員等に對しては夫々特殊な教育を施してゐる。流行の常に變化する婦人服の生産に於ては、出來高拂賃金を決定する賃金委員が重要な役割をもつが、彼等に對しては時間研究・動作研究等技術的訓練を施してゐる。これに關聯して興味あるのは、國際婦人服勞働組合には産業技術部が設けられて、生産の技術面を研究してゐることである。非能率的經營者に對しては、生産組織及び生産技術の改善に組合が積極的に協力して、組合の要求する高率賃金を支拂ひ得るやう努力してゐる。

組合の經營技術部の主なる活動は (1) 婦人服製造業に於ける凡ゆる部門の生産技術及び實施方法の改善 (2) 生産組織、生産技術、公正な出來高拂賃金水準等に關する情報の提供 (3) 職場委員及び價格委員等に對する時間研究・動作研究の技術的訓練等がその主なるものである。

國際婦人服勞働組合の現教育部長マーク・スターク氏は米國勞働教育界の第一人者であり、單に婦人服勞働組合の教育のみならず他の組合の勞働教育にも大きな指導力をもつてゐる。組合

本部の教育計畫を實施するために、全國約三十七の重要な單位組合に専任又は兼任の教育部長を置いてゐる。一九四八年度には一四の單位組合が三八八回の各種教育的集會を催し、これに参加した組合員總數は一萬二千名を越えてゐる。尙多數の單位組合は圖書室の設備を有し、定期刊行物を發行してゐる。また國際婦人服勞働組合はペンシルヴェニア州にユニテイハウスと稱する山莊をもつてゐるが、これは組合員一般に解放されてゐる。特に夏期には有給休暇を利用して多數の組合員が休養するが、この期間に多數の有名な講演者を招聘して、組合員の文化的向上を圖つてゐる。其他、組合員の保健のため、組合經營の保健所兼病院をニューヨークに以前からもつてゐたが、最近フィラデルフィアにも同様な保健所が設けられ、特に豫防方面に重點を置いてゐる。

要するに、國際婦人服勞働組合は、組織の力が勞働者の生活程度改善に如何に重要なものであるかを示す最も良い例であるが、組合の發展は勞働教育に負ふ所が多いことを見逃してはならない。

(2) 自動車勞働組合

正式の名稱は國際自動車航空機農機具勞働組合であるが、一般にはUAW・CIO即ち自動車勞働組合と稱はれてゐる。組合員總數百萬、單位組合九百以上を數へるといふ單一國際組合としては最大の組合であり、しかも最も民主的組合であるといふ點に於て知られてゐる。組合運動に就て經驗の少い自動車

勞働組合が一九三七年正式にCIOの一員として組織されて以來、僅か十年餘りの短期間に今日の強力な民主的組合を確立し得たのは、ルーサーの如き有能な指導者をもつてゐることにもよるが、更に大きな理由としては組織的強力な勞働教育を擧げなければならぬ。

自動車勞働組合が如何に勞働教育を重視したかは、最初の組合規約に組合全収入の五分を勞働教育費に充當することを決定してゐる點からも知ることが出来る。當組合教育部長の地位は他の組合よりも遙かに重視され、組合長ウォルター・ルーサーの弟ウィクター・ルーサーがこれを擔當してゐる。組合幹部養成機關として大學、勞働學校等と協力して數日乃至二週間の暑期學校、講習會等を開催してゐることは他の組合と同様である。更に地方の單位組合には専任乃至は兼任の教育部長が幹部訓練を受けた者と協力して一般組合員の教育を徹底的に行つてゐる。大きな單位組合には必ず圖書館の設備があり、一九四〇年の年次大會では單位組合の組合會費中二仙半をその教育費に充當することを決議してゐるが、これは同組合が組合員教育を重視してゐることを示すものである。教育手段として自動車勞働組合は各種のパンフレットを使用する組合は少い。その大部分は組合の出版部から出版しており、時には他の組合の發行したものを大量購入して配布することもある。立派な月刊雜誌の外に職場委員必携、討論指導、自動車工業經濟等を出してゐる。また勞働教育にポスター・幻燈・映畫・ラヂオ等の視覚教

育手段を最も有効に使用してゐるのも自動車勞働組合である。各種スポーツ・音楽・劇等も重要な教育手段となつてゐる。

更に自動車勞働組合の教育活動として特色をもつものは、消費組合及信用組合の運動である。食糧品を始め他日常必需品を組合員に低廉に供給するために、消費組合の賣店がデトロイト其他の重要都市に設けられてゐる。カンリンスターも消費組合の重要な事業であり、最近は衣類の賣店も開いてゐる。また信用組合も不時の場合に、低廉に資金を組合員に供給してゐる。これらの運動は何れも組合員の實質資金向上の重要な手段として行はれてゐる。最近ルーサーは生産者と消費者を直結し、中間搾取を排除するために農民と勞働者の利害關係は同一であると農民に呼びかけてゐる。

- 1) Mills & Montgomery: Organized Labor, p. 329.
- 2) Educational Department of the International Ladies' Garment Workers Union: Growing Up.
- 3) Report of Educational Department, I.C.W.U., 1946—1948.
- 4) Monthly Labor Review: Aug. 1945, pp. 304—7.
- 5) Mark Starr: Workers' Education To-day, pp. 17—18.

四 都市及州を單位とする勞働教育

全國組合の行ふ教育活動及び勞働教育局・米國勞働教育部等の行ふ教育活動の外に都市又は州を單位とする各種の地域的勞

働教育活動が行はれてゐる。例へばオハイオ州トレド市及びメリーランド州バルティモア市の各種單位組合によつて組織されてゐる中央勞働組合連合には教育委員が任命されており、トレドに於ては勞働問題研究の圖書及び資料を蒐めた圖書室が設けられ、バルティモアに於ては社會保障の問題に關する研究会及び討論會等を開いてゐる。

AFL系のオハイオ州連合會及びインディアナ州連合會は、各種の教育協議會又は講習會を開催してゐる。特にオハイオ州連合會は教育部長を選任して放送プログラムを實施してゐる。またインディアナ州連合會は大學等の協力を得て勞働教育に關する講習會・協議會・講演會等を開いてゐるが、講習會及び協議會の題目としては「組合役員の訓練」や「職業教育に於ける勞働者の責任及び機會」等が取り上げられてゐる。さらにインディアナ州のキャンサス市勞働教育協議會はキャンサス市大學の協力を得て組合幹部に必要とされる學課目を教へてゐる。

次にCIO關係ではオハイオ州協議會が毎年勞働教育會議を開催し、各種パンフレットの發行・娛樂方面の指導も行ひ、勞働教育の面で最も活潑に動いてゐる。他のCIOの都市又は州協議會は従來組合の組織に全力を奪はれ、勞働教育の餘裕が無い實情であつたが、其後自動車勞働組合・製鋼勞働組合を始めとしてCIO所屬の全國組合が勞働教育を活潑に展開するに至り、都市及び州の協議會に於ても漸次各種の教育プログラムを實施する氣運に向つてゐる。

AFL及びCIOが協力して地方の労働教育に活動してゐる例としては、ウキスカンシン州のケンノーシャ労働教育協議會がある。同協議會の斡旋によつてウキスカンシン労働教育協議會が開催され、ケンノーシャ労働教育協議會と同様な協議會を州の他の地域にも設置することを援助した。尙同協議會は十の單位組合が實施してゐる團體交渉の方法を比較研究して「團體交渉手續」なるパンフレットを發行し、後に「ケンノーシャ労働」紙上に轉載されたが、これは他の組合に團體交渉の手引として非常に役立つた。

更に又ウキスカンシンでは一九三八年州労働連合會の主唱により州教職員組合連盟、農民衡平同盟、協同組合牛乳同盟、北部州協同組合連盟等が共通な教育問題に就て協議會を開催した。協議題目の主なるものは學校教育の機會均等、失業青年に對する學校教育施設の改善、労働教育の擴張及び財政的援助、農民及び労働者代表の教育委員會への参加等であつた。

地方に於ける労働教育と關連して特記すべきはニューヘヴン、ピッツバーグ、ミネアポリス等で實施された労働大學である。例へばニューヘヴン労働大學は主として労働宗教財團によつて設立され、各種産業に従事してゐる労働者を對象として、エール大學の教授達により、同大學の教室を借りて一週一時間の授業を行つてゐる。學課目は大體に於て他の労働大學と大同小異である。

次に各種社會事業團體及び宗教團體等の労働教育活動も見逃

米國の労働教育に關する一つの報告

すことは出来ない。一九三三年以來大規模な社會問題に直面して、社會事業家は労働教育に目覺めるやうになつた。例へばニューヨークのヘンリー・ストリート・セトルメントは労働教育部を持ち、初歩英語から始まつて社會心理學に至る迄凡ゆる種類の學課目を無料で教へてゐる。學力も異なり人種も雜多であるので多くの場合幻燈・映畫等の視覚教育によつてゐる。シカゴに於てはシカゴコンモンズ及びハル・ハウスが同様な労働教育プログラムを行つてゐる。また基督教女子青年會は特に未婚婦人労働者の教育に重點を置いてゐる。一方に於て經濟問題や社會問題をより良く理解せしむることによつて彼等の生活する社會に對する關係を認識せしむると同時に、他方夏のキャンプ又は夏期學校等に労働組合の問題を論じ、時には労働組合の組織者に連絡をとる場合もある。基督教女子青年會の教育活動は正規の教室の外に、凡ゆる種類の社交的會合や其他の活動を通じて行はれる。教育の對象は凡ゆる種類の勤勞婦人であつて娛樂を中心とするが、保健と交友關係に重きを置く。討論の主題は市民的自由・人種・國籍に基く仕事の差別・賃金・労働時間・失業・労働組合・老令保障・住宅・保健等で人頭税反對・反私刑法案支持・住宅立法の制定等これらの問題の實踐的指導もなす。

1) Mark Starr: Workers' Education To-day, p. 34.

2) Ibid. p. 34.

3) Ibid. p. 35.

4) Ibid. pp. 36—8.

5) Ibid. pp. 42—3.

五 米國勞働教育部

—American Labor Education Service

プリンモア婦人勞働者夏期學校に刺戟されて同種勞働學校が他の學校にも開設されたが、これらの諸學校の間には教育方針・學課目等に關する連絡機關が必要であつたことと、組合外部から各種勞働教育計畫に對する統一機關が必要であつたことから、遂に一九二六年に米國勞働教育部の誕生を見るに至つたのである。最初は勞働學校だけがこれに加盟してゐたのであるが、その後役員の範圍が擴大され、勞働學校の外に個人も單位組合も勞働教育委員會等も加盟を認められるに至つた。従つて

米國勞働教育部はC I O及びA F L加盟の全國組合並にその單位組合、勞働大學、講習會、青年團體、成人教育、地方自治團體等非常な廣範圍に亘り、勞働教育に關する各種の便宜を計つてゐる。例へば彼等の要請に應じて勞働教育計畫の樹立、教育資料の提供、教師の斡旋、圖書目錄及び各種パンフレットの發行等を行ひ、また重要な勞働立法の問題や其他組合に興味ある時事問題等については、自ら主催するか又は地區協議會等に斡旋して會合を開催してゐる。また全殿の勞働教育に關する地區協議會を東部南部中西部等の地域別に開催してゐる。例へばボストンで開催された新英州地區協議會にはA F L・C I O所屬

の組合を初め、其他多數の勞働團體が四十四地方から參集し、新英州地區の勞働教育のプログラムに就て協議した。また一般學校の教師達に勞働教育に特別な興味を持たせるために教師に對する特別會合を催した。またシカゴで開催された中西部地區協議會に於ては、勞働教育の技術、變遷期に於ける勞働等の問題が議題とされた。

戰時中、政府は戰時經濟遂行のため、各種の統制生産計畫、勞働力の配分、勞資の協調等の諸政策を實施したが、このためには勞働者の協力を得る必要があり、彼等を教育しなければならなかつた。そこで米國勞働教育部は各種勞働諸團體、政府の關係官吏、社會事業家、大學代表者等と協力して戰時勞働教育を推進せしめた。

また米國勞働教育部の重要年中行事の一つはワシントン誕生日勞働教育協議會である。この協議會にはA F L、C I O、其他獨立勞働組合の教育部長、政府の關係官吏、大學勞働教育關係者等が參集し、當面の重要課題に就て協議してゐる。最近協議された議題は、大學と勞働教育、社會と勞働教育、勞働教育の目的及び手段、勞働教育に於ける政府機關と組合の協力等の重要問題である。

要するに米國勞働教育部はA F Lの外郭團體たる勞働教育局(W E B)・C I Oの調査教育部、組合協會(各種勞働組合の勞働教育協會)、全國大學通信教育連盟等の勞働教育に關する連絡乃至は情報交換機關として重要な機能をもつてゐる。また米

國勞働教育部は長年に亘る勞働教育の研究並に體驗に基き、勞働教育のプログラム遂行に必要な技術等を發表して一般の利用に供してゐる。また勞働教育の新らしい分野の研究を常に行つてゐるほか、勞働教育資料、文獻目錄、パンフレット等の出版、勞働教育協議會、指導者訓練講習會等の計畫、斡旋等勞働教育界に重要な働きをなしてゐる。

- 1) F. H. Schneider: Patterns of Workers' Education, pp. 33—5.
- 2) Monthly Labor Review, Aug. 1945, pp. 314—5.
- 3) *Ibid.* pp. 315—6.
- 4) *Ibid.* p. 316.

六 勞働教育局—Workers Education Bureau

勞働教育局は一九二一年A.F.L.の外郭團體として設立され、A.F.L.關係組合の勞働教育に當つてゐる。勞働教育局はA.F.L.の補助金、財團の密附及び加盟組合の會費等により運営されてゐる。A.F.L.の補助金は極めて少額である。

勞働教育局は勞働教育に關する週末講習會、放送、通信教育を行ふほか文獻目錄、圖書、パンフレット、勞働教育情報等を發行してゐる。勞働教育局の最も重要なプログラムの一つはA.F.L.の州連合會と協力して講習會を開催することである。この種の最も古いものはニュー・ジャージー州勞働組合連合會と協力し、ラトガー大學に於て毎年開かれてゐる夏期講習會であ

米國の勞働教育に關する一つの報告

る。ラトガー大學の夏期講習會は既に二十年の歴史をもつてゐるが、同様な講習會は其後インディアナ、マサチューセツツ、キヤンサス及びコロラド等の諸州に於ても開催されてゐる。州連合會は單に勞働教育局の講習會の外に臨時に週末講習會又は討論會等を催してゐるが、課題としては勞働時間の短縮、消費組合、組合と農民、社會保障、住宅問題、全國勞働關係法、勞働立法の運営等である。講習會は大部分各地の州立及び私立の大學に於て開催され、講師としては夫々の課題の専門家を依頼してゐる。これらの講習會の聽講者數は四、五十名から五、六百名に達することもある。

勞働教育局は更に單位組合、市協議會等に勞働教育計畫、働課程目、涉外關係等に關する指導を與へ、州又は連邦政府の勞學課題に關する公聽會に於ける陳述方法等も指導する。また勞働教育局は毎月出版される勞働圖書文獻目錄を發行し、地方の圖書館の勞働に關する圖書講入の指針を與へてゐる。一般公立學校の教育に於て勞働運動を正しく認識させる様な努力も拂つてゐる。月刊・週刊雜誌のほかパンフレットの發行、放送等による勞働者の教育と同時に、一般世論の啓蒙運動も行つてゐる。一九四四年ウキスカンシン州のマディソンに勞働教育局が設立されたが、これは勞働教育局が全國的規模に於て實行してゐる教育計畫を州の範圍に於て行ふ機關である。

要するに勞働教育局は過去三十年A.F.L.の外郭團體として、主としてA.F.L.關係組合の勞働教育に従事して來たが、最近勞

働教育の重要性に鑑み A.F.L. の教育委員は昨年の年次大會に於て A.F.L. の内部に教育部を設置し、現在の勞働教育局の機構並に事業をそのまゝ教育部に繼承し、更にこれを擴充強化すべきであると報告してゐる。

- 1) Mark Starr: Workers' Education To-day, pp. 7—8.
- 2) Ibid. pp. 8—9.
- 3) Monthly Labor Review, Aug. 1945, pp. 301—4.
- 4) American Federation of Labor, Report of the Proceeding of the 68th Convention, pp. 358—9.

七 大學に於ける勞働教育

(1) 勞働大學

第一次世界大戰後、アーモスト、ブルックウッド、プリンモア、バーナード、ウキスカンシンなどの大學で勞働教育が企てられたが、その内最も重要なものはブルックウッド勞働大學 (Brookwood Labor College) である。ブルックウッド勞働大學は一九二一年マステイ牧師を學長とし、二ヶ年の修業年間をもつ男女共學制のもとにニューヨーク州カトナに開校された。開校當初は米國勞働總同盟も財政的援助を與へ、現在の社會組織を根本から改革するためには勞働組合、協同組合、及び進歩的政黨の凡ゆる勢力を結集すべきであり、ブルックウッド勞働大學はその中心となるべく期待されてゐた。併し、その後學内教授間に社會主義と共產主義との對立が起つた。共產主義陣營

では研究の自由といふ立場から共產主義思想を擁護せんとした⁴⁾が、反對派では元來勞働運動の指導者を養成するために設立された勞働大學が共產主義の宣傳に利用されることは危険であると反駁した。かかる問題が発生したため、米國勞働總同盟の執行委員會は一九二九年同大學に對する財政的援助の打切りを決議した。其後、總同盟所屬の個々の組合及び獨立組合中には學生を送り財政的援助を繼續したのもあつたが、遂に一九三七年閉校した。併し、ブルックウッド勞働大學は十五ヶ年の存続期間中五百名近くの卒業主を出し、彼等の多くは現在米國の勞働運動に重大な役割を演じてゐる。

ブルックウッド勞働大學開設と同年、即ち一九二一年プリンモア大學は婦人勞働者夏期學校を開いた。約百名の婦人勞働者に夏期八週間、學校の總ての施設を解放して、勞働教育を施したのであつた。プリンモア夏期學校は一九三九年現在のハドンシヨア勞働學校に繼承された。現在各種組合と協力して長期及び短期の夏期學校を開催してゐる。短期講習會の場合は組合が全部財政的負擔をし、學校は講習會のプログラムを作成して協力する。

ブルックウッド勞働大學の設立後二年、即ち一九二三年アイカンサスのメナに設立されたコンモンウェルス勞働大學は、財政的困難と地方の反對のために一九四〇年に廢校となつた。

短期間閉校される勞働學校としては、ハイランダーフォーク勞働學校、ハドンシヨア勞働學校、太平洋沿岸勞働學校、ウ

キスカンシン大學勞働學校、南方勞働學校、事務勞働者暑期學校等があるが、このうち最も有名なのはハドソンシヨア勞働學校及びウキスカンシン大學勞働學校である。

かやうに勞働教育が學校教育の形をとるに至つたのはローズヴェルトのニラ政策の一環として、失業教職員を使用して失業者に成人教育が施され、その成人教育の一部として勞働教育が取上げられたこと、またC.I.O.の政治活動委員會が新入組合員訓練の必要から、勞働教育に重點を置いたことによるところが多い。併し、最近大學が勞働教育に積極的に進出するに至つたのは、大學本來の使命に對する反省からである。大學の本來の使命は、眞理の探求と同時に社會に對する奉仕にある。特に公立大學に於ては後者の點に關する大學の使命が強調される。若し大學の使命が社會に對する奉仕にあるとすれば、社會の最も重要な階層たる勞働者階級に對しても、奉仕する義務と責任とをもたねばならない。かかる意味に於て、現在多數の公立大學は成人教育の一翼として勞働教育を行ひ、ハーバード大學やエール大學の如き私立大學に於ける勞働教育は、勞働大衆に對する義務といふよりも、大學の機關を解放して、社會科學の分野に於ける新らしき研究資料を獲得し、更に中産階級の乃至は支配階級のイデオロギーを持つ傳統的な學生層に新らしき要素を注入せんとする意圖をもつて行はれてゐる。かかる計畫に對しては、特別な基金を必要とするために、私學は自ら特別な分野を選択して實驗的に行はざるを得ない。また宗教的大學特にカ

米國の勞働教育に關する一つの報告

トリック系大學に於ては、ローマ法王の社會秩序に關するエンサイクリカルスに基き、勞働問題を倫理的基礎の上に解決せんとする手段として、勞働教育の問題が取上げられてゐる。

各大學に於ける勞働教育の具體的目標は、エール大學の如く勞働問題に關する理論的智識及び理解の増進、ハーバード大學及びシカゴ大學の如く組合組織の運営技術の改善、ロツクハート大學及びセント・ジョセフ大學の如く團體交渉方法の改善、ウキスカンシン大學、ミシガン大學及びロードアイランド大學の如く、勞働組合及び組合員の有機的關係の増進等々その重點を異にしてゐる。しかし、大學に於ける勞働教育の一般的傾向は、その重點を幹部訓練に置き、これらの幹部をして一般組合員大衆の教育訓練に當らしむる方針をとつてゐることである。大學が勞働教育を實施する場合に問題となるのは、勞働教育擔任者の問題である。大學教授は主として學問的訓練を受けてはゐるが、實際の勞働問題に通曉する者が少い。従つて特にこの方面の専門家を依頼しなければならぬ場合もある。

大學に於ける勞働教育の重點は組合の運営及び團體交渉及び勞働協約等に關する理論的乃至は技術的教育に置かれてゐるが、この場合團體交渉の相手方たる經營者に對する勞働教育が問題となる。ウキスカンシン大學、ミシガン大學及びロードアイランド大學等は單に勞働者教育にのみ限定してゐる。然るにシカゴ、エール、ハーバード等の諸大學に於ては、經營者に對する勞働教育も行つてをり、この場合シカゴ大學の如く兩者を

全く別々なクラスに於て教授するものと、エール大學、ハーバード大學の如く特定の課題に限つて兩者を合併教授する場合がある。

ウキスカンジン大學勞働學校は一九二五年に開校され、既に二十五年の長い歴史をもつてゐる。はじめ、基督教女子青年會の提案に基いて、婦人勞働者を對象に六週間の期間を以つて開始された。併し、最初の間は學生の大部分は非組合員であつた。一九二八年に至つて一般男子組合員にも解放されたが、これは勞働組合員の大部分が男子によつて占められてゐるといふことから當然のことであつた。然るに六週間といふ長い期間を通して勞働學校に出席するには、勞働者はこの間に於ける賃金を喪失するばかりでなく、滞在費その他特別の經費を要するところから、組合員個人としては到底負擔出來ず、自然組合が負擔することになるのであるが、組合としても多數の學生を送ることが出來ない。従つて一九二五年から一九三七年に至る十二年間の年平均學生數は四十三名に過ぎなかつた。然るに一九三七年夏或る全國組合の要求により二週間の短期勞働學校を試験的に實施したところ、それが非常に好成績であつたので、其後各組合別に二週間の夏期學校が一般的に採用されるようになった。この夏期勞働學校を組合の幹部養成に使用してゐることは、出席者の大部分が組合の幹部乃至は役員によつて占められてゐることでも明かである。尙、全國組合の單位が少く單獨に夏期學校をもち得ない組合に對しては、大學主催で如何なる

組合もこれに参加し得るやうな夏期學校が開かれてをり、期間はやはり二週間である。一般勞働組合員に對する勞働教育の外に各會社の勞務擔當者、教會指導者、協同組合員等に對する特殊の夏期學校も開かれてゐる。これはウキスカンジンの特色である。

次にウキスカンジン勞働學校の成功した重要な原因としては、學課目の編成と教授方法の特異性が挙げられやう。一般の學校で行つてゐる様な入學資格や試験はなく、履修單位のクレディットも修業證書もない。教室に於ては主として討論方法を採用し、教師としては單に廣い社會科學の知識をもつただけでなく、作業場や組合の問題に關する體驗をもち、更に教師としての資格をもつてゐるものを選択の標準としてゐる。従つて大學の教授の外に政府の役人更に組合の指導者等の中から適任者を選択してゐる。更に多數の組合がウキスカンジン大學に夏期學校を選択する他の理由は、大學所在地マティソンの環境である。キャンパスの教室、圖書館、寄宿舎、フラタニティー其他の運動、娛樂等の諸施設がすべて彼等に提供されてゐる。更に一九四九年夏には六月から九月迄の期間に約十三の全國組合の夏期學校の外に一般組合員、勞働教育者、使用者代表、教會代表、協同組合代表等を對象とする特別勞働學校が一週間乃至二週間の期間開催され、これら各種の學校が同時に開催されるために相互の間に意見の交換をなし、意志の疏通を圖ることが出来る

といふ利益をもつものである。¹²⁾

ウキスカンシン大學勞働學校は單に夏期勞働學校の開催のみならず、更に通年的勞働教育をも行つてゐる。夏期勞働學校に出席し得る勞働者の數は經費其他の關係で自然制限を受けるが、組合としては出来るだけ多數の組合員に勞働教育を徹底させることを希望してをり、そのために勞働學校の巡回移動講座の如きものを開く必要がある。丁度一九三〇年代の不況時代連邦政府の失業救濟事業の一環として勞働教育が開始されたが、ウキスカンシン州に於ては一九三七年より州政府が特別豫算を計上して、この通年的勞働教育のプログラムが行はれてゐた。夏期勞働教育は主として組合指導幹部の教育をなし、冬期に於ては各地方の勞働會館を中心に一般組合員大衆の勞働教育を實施して來た。然るに一九三九年に至り保守的政黨が政權を握るに及び、この教育費豫算が削除された。¹³⁾しかし、現在も小規模ではあるが、地方の事情に應じ人員に應じて、可能な範圍で週末二、三日又は一週間の短期講習會を開いて、一般組合員大衆の教育に當つてゐる。¹⁴⁾

大學に於ける勞働教育プログラムとして注目すべきは、ハーバード大學の勞働組合特別研究員制度である。¹⁵⁾同研究員制度は組合から推薦を受けた組合役員乃至は幹部に對し一ヶ年間組合指導者に必要な特別教育を施すことを目的とする。スリヒター教授指導の下に、特別なプログラムが編まれてゐる。この外に

米國の勞働教育に關する一つの報告

特別研究員は企業經營學部を始めその他の學部の講義を自由に聽講し得るし、また毎週一匠學外の實業界・勞働界・官界等より勞働問題の權威者を招聘して特別講義を持つてゐる。

特別研究員に大學の一員としての生活を體驗せしめんとする配慮から、獨身者に對しては大學の寮に入る特權が與へられてゐる。また彼等が一般的な大學の諸活動に参加することにより、他の學生に對し勞働者の見解を知らしむる上にも大きな効果をもつものであるが、他方、組合指導者が日常の組合雜務に煩はざれることなく、學問的雰圍氣に於て勞働問題の理論的研究に従事することは、經營者と對等な地位に於て團體交渉をなす上に重要な意義をもつものである。しかし、組合の役員又は幹部が一ヶ年間大學に出席することは組合活動に支障を來すことが多いので、最近に至つてこのプログラムを九月より十二月迄の四ヶ月程に短縮してゐる。¹⁶⁾

エール大學に於てもバツキー教授の指導の下にハーバードと同様な勞働組合特別研究員制度を設けてゐる。エール大學に於ては、組合員のみならずも持つが、時には經營者の代表と合併のクラスも持つ。しかし、エール大學の特徴は、他の一般學生と組合代表との接觸を密接にしてゐる點にある。例へばシニアーの學生が卒業論文に勞働問題を課題とするやうな場合、組合員が實際的方面から學生を援助するなど、またニューヘヴン地方の勞働組合員を大學の組合員のクラスに招待してゐるなどその接觸は密接である。勞働組合員が大學の學生として生活す

ることは大學一般に對し極めて重大な意義をもちものであることを、ベツキー教授は強調してゐる。これは大學が勞働組合員を利用するといふ意味ではなく、大學が社會全般に對しての廣範な影響力に鑑み、一般社會をして現代社會に於ける勞働組合の果すべき重要な役割を理解せしめ、また勞働運動の個々の構成員に對して尊敬を拂はしむるといふ意味に於て重要な意義をもちのである。

- 1) T. Branneld: Workers' Education in the U. S., pp. 59—60.
- 2) F. Peterson: American Labor Unions, p. 167.
- 3) F. L. Schneider: Patterns of Workers' Education, The Story of the Bryn Mawr Summer School.
- 4) Mark Starr: Workers' Education To-day, pp. 13—4.
- 5) Ibid. p. 13.
- 6) C. F. Ware: Labor Education in Universities, pp. 3—16.
- 7) Ibid. pp. 17—9.
- 8) Ibid. pp. 19—21.
- 9) E. E. Schwarztrauber: The Wisconsin Idea in Workers Education, pp. 9—11.
- 10) E. E. Schwarztrauber: The University of Wisconsin School for Workers, Its First Twenty-five Years.
- 11) Ibid. pp. 11—12.

(2) 大學通信教育部による勞働教育

大學通信教育部による勞働教育のプログラムで最も有名なものは、ミンガン大學のプログラムで、これは州の特別豫算によつて實施されているものである。この特別豫算に基つて、ミンガン大學は、デトロイを始め、其他産業の重要中心地に於て、連續講義・講演・其他の勞働教育を實施した。このプログラムの實施に當つては、大學は現地責任者を設け、組合の要求に應じて適當な場所に適當な問題に關するプログラムを編成した。

ミンガン大學の外、同様な通信教育部がウェイん大學、ロードアイランド大學、イリノイ大學、コーネル大學のニューヨーク州立勞働學校等にも、設けられた。またウヰネカシンン大學に於いても、大學通信教育部が勞働教育を實施していることは既述の如くである。シカゴのロースヴェルト大學は學校の經營

- 12) Ibid. p. 30.
- 13) E. E. Schwarztrauber: The Wisconsin Idea in Workers Education, p. 10.
- 14) E. E. Schwarztrauber: The University of Wisconsin School for Workers, Its First Twenty-five Years, p. 30.
- 15) Harvard University: Trade Union Fellowship Program.
- 16) C. F. Ware: Labor Education in Universities, pp. 30—31.
- 17) Ibid. pp. 31—2.

が最も民主的に行はれ、理事中にAFL及びCIOの代表者が各々一各つづ加つてゐる關係から、勞働教育に關心を持ち、勞働教育科を新設して、マカリスター氏を科長とし、シカゴに於けるAFL及びCIO所屬の組合と協力して幹部組合員並に一般組合員に對する勞働教育を行つてゐる。

この勞働教育に於て注目すべきことは、勞働教育に對する要求が下から盛り上る力として起つてゐる點である。例へばデトロイトに於ては、自動車勞働組合の單位組合からの要求が多く、ミシガン大學及びウェーン大學だけのプログラムではこれに應じきれない状態である。其他ロードアイランド大學、イリノイ大學、コーネル大學のニューヨーク州立勞働學校に於ける勞働教育のプログラムは、何れもそれらの州に於けるAFL、CIO、其他獨立組合の要求に應ずるために設置されたものである。

これらの諸大學は實際に勞働教育のプログラムを遂行するに當つて、その本據を勞働者居住區域の中心に置き、大部分組合會館をその教室として使用してゐる。一般に學校の教室は禁煙であり、机が餘り樂でなかつたり、時間の制限があるために、勞働教育の教室としては不適當であるといふ觀點から、組合會館が使用されるのである。最も一般に用ひられる方法は、或課目に就て一週一時間乃至二時間の講義を六週乃至八週間繼續することである。勞働教育の課目に主として興味本位であるから、餘り長期に亘る時は組合員の興味を失ふ恐れがある。以上

米國の勞働教育に關する一つの報告

の様な正規の短期講習會の外に、月例組合員大會等に臨時に講師を派遣することもある。

大學時に州立大學に於ける勞働教育は、その性格上一黨一派に偏してはならない。一昨年ミシガン大學がCIOによつて書かれたパンフレットを勞働教育の教科書として使用したといふので、經營者陣營から抗議が出、ミシガン大學の勞働教育に一頓挫を來した如きはあまり例のないことである。

1) Roosevelt College, 1940—50, Annual Catalogue, pp.

71—5.

2) C. F. Ware: Labor Education in Universities, pp. 36

—8.

(3) 勞働教育の學課目

勞働教育の内容即ち學課目は最も重要な問題である。米國の經驗は、勞働教育を最も効果的ならしむる勞働者の必要乃至は要求に應じて、プログラムを作成すべきであつて、決して勞働教育はかくあるべしと外部で考へた計畫を強制すべきでないといふことを教へてゐる。勞働教育の機能は、要するに勞働者をして彼等の必要を發見し、明確にする様に援助するにある。これらの必要を勞働者自身が自覺した時に、初めて教育が身につくのである。従つて米國の各大學に於ては、勞働教育の具體的プログラムを作成するに當つては、事前に十分調査研究を行ふ。例へばミシガン大學に於て、最初の年の大部分を勞働者の興味を喚起することに費した如く、またシカゴ大學に於て勞働

(六一)

六一

教育の専門家が、シカゴの勞働指導者達と會見し、勞働者の現在の要求及び新たに起りつつある必要等を知るために數ヶ月を費したなどそのよい例である。これに反し、校長が獨斷的に自分自身重要であると考へたプログラムを作成した場合は永續性がなく、失敗に終ることが多い。勞働教育は學位の獲得を目的とするものではなく、また出席も自由であるから、勞働者の興味を引くプログラムでなければならぬ。勞働者の要求と必要は常に變化するから、それに應じてプログラムも變更しなければならぬ。

エール大學の方針は、勞資關係の技術面よりもむしろ基本的問題に重きをおく。例へば一九四七年度の學課目は國民經濟、團體交渉と組合主義、賃金の決定及び政策、勞働立法及産業に於ける人事關係等である。

ハーバード大學勞働組合特別研究員に對する一九四九年度の學課目は、米國勞働運動史、勞働關係問題、經濟分析、會計及貸借對照表分析、組合代表と政府機關、仲裁、年金制度、職務評價、能率賃金、勞働協約の交渉及び運営、團體交渉等である。

ウチスキャンシン大學勞働學校の各種暑期學校で一般に採用される學課目は、團體交渉の經濟的基礎、現行連邦及州法下に於ける團體交渉、生活經濟、勞働運動史、勞働立法、各種産業經濟(自動車工業經濟、製鐵工業經濟等)職場委員訓練、産業に於ける人事關係、勞働者心理學、組合の運営、時事勞働問題、

演説、議事法、消費者問題、時間及び動作研究、職務分析及び評價等である。

更に一九四五年度、十七のジェズイット派大學の勞働學校ではローマ法皇のエンサイクリカスに基き議事法、演説、勞働法、勞働關係、經濟學、勞働運動史、勞働問題、社會主義、英作文、民主主義と勞働、倫理、協約の作成、苦情處理、團體交渉、講演、心理學、勞働關係の心理、論理、基督敎、討論、政府涉外、社會倫理、管理機關、憲法、劇、協同組合、職務分析、勞働プログラム、指導的地位、哲學、勞働の權利義務、職場委員、社會的指導者、社會保障、スウェーデン語、勞働組合、組合會議、賃金決定等の學課目を教へた。

- 1) C. F. Ware: Labor Education in Universities, pp. 39—40.

- 2) E. W. Bakke: Labor & Management Center, Plans & Progress, p. 17.

- 3) Harvard University: Trade Union Fellowship Program, 1949, pp. 5—8.

- 4) E. E. Schwartz: The University of Wisconsin School for Workers, Its First Twenty-five Years, p. 22.

- 5) C. F. Ware: Labor Education in Universities, p. 43.
- (4) 大學と勞働運動との關係

歴史的に大學と勞働運動との間には、社會階級的な差異から相互に敵對的感情が存在してゐた。私立大學に於ては勿論、州

立大學に於てさへも、學生の大半は上流階級乃至は中産階級の子弟によつて占められてゐる。教職員も同様中産階級以上の出身者が多く、従つて彼等の大部分は米國の傳統的な個人主義思想の持主である。更に理事會はローズヴェルト大學の如く、勞働組合の代表者を理事として加へてゐるものは極めて例外的であつて、大部分は支配階級によつて構成されてゐる。大學の理事、教職員及び學生がかかる社會層から構成されてゐる以上、勞働組合がこれに不信の念を抱くことは當然である。大學の理事中に組合運動反對者が存在する場合、その大學に對する不信は更に強い。

・從來、大學と組合運動とが遊離し對立してゐたことは、一部大學の理事者が組合運動彈壓の態度をとつてゐたことにもよるが、勞働組合側に於ける大學不信の態度がその主なる理由であつた。このことは兩者共大學の本質または本來の使命を正しく認識してゐないことに基くものである。大學の立場は飽く迄も一黨一派に偏せず、鬭争の渦中に卷込まれることなく、科學的研究方法の適用により、經濟社會の問題を解決せんとするにある。最近、米國公私二十有餘の大學に勞資研究所が設けられ、勞働教育をその重要なプログラムの一つとして實施してゐることとは、相互間の理解の増進に基くものであるといはねばならぬ。公立大學が勞働教育の問題を大學教育の一翼として取上げるやうになつたのは、勞働組合の政治的壓力によるものであるが、私學に於けるかかる勞働教育のプログラムは、有産階級の

資金的援助に俟たなければならぬ。私學が勞働教育プログラムを取上げることには對し、單に理事者が反對せざるのみならず、更に資金的な援助をなすに至つたことは社會の變化を物語るものであり、又勞働組合の大學に對する認識の進歩といはねばならない。勿論、一昨年ミシガン大學に起つた勞働教育のプログラムに關する衝突によつても窺ひ知ることが出来るやうに、この問題に對する兩者の對立が全く解消したと觀することは出来ないが、少くとも大學が勞働教育の面に積極的に進出して來たことは、勞働問題が如何に學問として重要視されて來たかを物語るものである。

1) C. F. Ware: Labor Education in Universities, pp. 73

む す び

以上において、筆者は米國における目ぼしい勞働教育活動の概要を述べたつもりである。しかし、米國における勞働教育がこれだけに終つてゐると考へてはならない。

さきにも觸れた如く、勞働教育は集團としての勞働者を教育の客體にするといふ點において、一般の成人教育とその趣を異にするものではあるが、その主體については特別の制限をもつものではない。従つて、このことを文字通りに普遍するならば、勞働教育の主體として、勞働組合はもとより大學、研究機關、社會教育團體、文化團體などの中立的機關または政府機關

によることも可能であり、場合によつては使用者または使用者團體、もしくは政黨による勞働教育さへ考へられないことはない。

しかし、勞働教育が一般の成人教育と違つて、特に集團としての勞働者を對象にするものとされる所以は、それが勞働組合運動の一環として、すぐれた勞働者の自主的・自律的な向上への努力をその活動の基盤にもつからである。米國における勞働組合の活動が一般的にさうであるやうに、勞働教育もまた單位組合における一般組合員の日常的な組合活動を通じて最も徹底して行はれる。ここにいふところの單位組合とはわが國の用語例に從つたのであつて、全國組織の進んでゐる米國においては、地方組合つまり Local Union の意味にはかならない。即ち勞働組合組織の最も末端の各工場・事業場を單位とする勞働教育活動に重點が置かれてゐるのである。そして、その勞働教育の方法にしても、この末端の單位組合が自主的に決定し、運用してゐるのであつて、上級の組合つまり州及び都市を單位とする勞働教育や全國組合による勞働教育は、單位組合の教育活動を援助し、各單位組合間の共通問題を調整するといふ立場にある。勞働教育が勞働組合の民主化に寄與し、またそのことによつて勞働組合が社會的に有力な民主勢力となり得た所以は、かかる勞働教育の機構のうへにもこれを明かに認めることができる。従つて、米國の勞働教育を語るには、單位組合の教育活動がいかに行はれてゐるかを明確にする必要があるのであるが、

このことについては既に他の機會にかなり詳細に述べたので、ここには省略する。また本稿が比較的大きな比重で大學における勞働教育を取扱つたのは、これについての紹介がいたわが國で餘り試みられてゐないからである。

米國における勞働教育は、組合の運営並に團體交渉及び勞働協約に必要な技術的教育を授けることに重點がおかれ、極めて日常的・實用的である。これは米國の勞働組合運動の指導理念そのものが、現經濟體制を前提とし、それよりの豊かな果實の獲得に重點を置いてゐることに相應するものである。従つて、勞働組合が社會主義經濟體制への移行の推進力をなしてゐる英國の勞働教育とはその内容をいささか異にしてゐるのは當然であつて、我々が米國の勞働教育より何物かを學ばうとする場合に、このことを念頭に置く必要があらう。しかし、現在のわが國において、一般組合員に組合の何たるかの自覺を促し、そのことによつて組合の運営に積極的に参加する機縁を與へると共に、團體交渉及び勞働協約についての技術的教育を施すことの必要は、決して他の國に優るとも劣るものではない。かかる見地よりすれば、米國の勞働教育は我々に呼びかける多くのものを持つてゐるやうに考へられる。また大學の勞働教育における役割については、我々に深い示唆と反省を促してゐるやうに思はれる。